

アルコール飲料のpH測定

□ は じ め に □

アルコール飲料のpHは、味のまともり、発酵由来の酸味、保存安定性、品質の再現性を確認するうえで重要な管理項目です。清酒、ワイン、焼酎、リキュール、発泡性アルコール飲料などはエタノールを含み、水系試料と性状が異なるため、条件によっては指示値の揺れとして現れることがあります。また、試料の種類によっては粘度や電気伝導率が低く、電極応答が遅れたり、測定値が落ち着くまでに時間を要することがあります。そのため、アルコール飲料のpH測定では、試料特性に配慮した電極選定が求められます。

□ 用 途 □

- 工程内から最終製品において、アルコール飲料の特性に応じた品質管理が可能です。
- 製品ごとのpH管理を通じて、味覚の安定化に貢献します。
- ロット間差の把握や工程管理により、製品の再現性向上が期待できます。
- 安定した測定により、歩留まり向上と品質トラブル低減に貢献します。

スリープToupH電極は、液絡部が可動スリープ構造となっており、セラミック型に比べて内部液流出量が比較的多いので、液間電位が発生しやすいアルコール飲料でも応答が速い測定が可能です。また、酵母、果肉、懸濁物、糖分などによる詰まりを防ぎやすく、安定した電極性能を維持します。

注記：アルコールを含むサンプルのpHは、水溶液におけるpHと異なるため、溶媒中の水素イオン活量の大小の指標（相対評価）として扱ってください。

スリープ ToupH 電極
9681S-10D

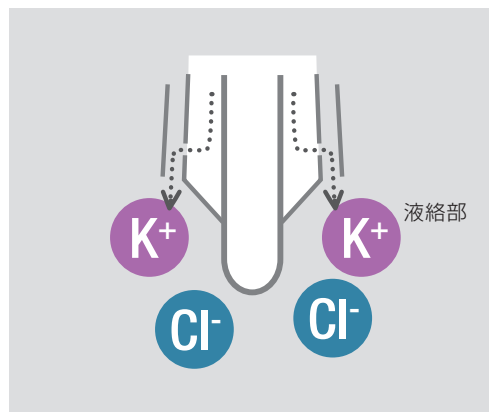


図1. スリープToupH電極のスリープ構造

■仕様

形式	9681S-10D
pH範囲	0~14
使用温度範囲(℃)	0~60
液絡部	可動スリープ
内部液	#300 (KCl)

- 粘性の高い試料でも安定した測定が可能です。
- 溶剤や非水溶媒を含有した試料(化粧品・塗料)にも使用できます。
- 可動スリープ構造の液絡部は、洗い流せるので高粘性試料の詰まりを防ぎ、安定した性能を維持できます。
- 防水構造
- 鉛フリー

・この資料に記載されている内容は改良のため、予告なく変更することがあります。

〈製造・販売元〉

株式会社堀場アドバンスドテクノ

〒601-8551 京都市南区吉祥院宮の東町2番地 075-321-7184
http://www.horiba-adt.jp

●このアプリケーションノートの記載内容については、改良のために仕様・外観等、予告なく変更することがあります。
●このアプリケーションノートの製品詳細については別途ご相談ください。
●このアプリケーションノートと実際の商品の色とは、印刷の関係で多少異なる場合もあります。
●このアプリケーションノートに記載されている内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
●このアプリケーションノートに記載されている製品は日本国内仕様です。海外仕様については別途ご相談ください。
●このアプリケーションノートで使用されている製品画面は、はめ込み合成です。
●このアプリケーションノートに記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。